

みんな

一緒にいこうよ



みんなのお勤め

にちじょうごんぎょうしき

4コマ日常勤行式



作画
菊田 水月

つと 毎日のお勤め

「お経」^{きょう}と浄土宗の「日常勤行式」^{にちじょうごんぎょうしき}

お坊さんがお葬式やお仏壇の前で唱える「お経」って何でしょう。

「経」という字は「縦糸」を表します。古代インドの言葉に「教えの基本線」「教えを貫く綱要」を意味する「スートラ」という言葉がありました。それが中国で「経」という漢字に翻訳されました。仏教では、お釈迦さまが説かれた教えを弟子たちがまとめ、弟子から弟子へと伝えられ、中国に伝わり中国語（漢文）に翻訳されました。その「漢訳仏典」が日本に伝わり、日本語音で読まれているのが「お経」なのです。つまり、お坊さんが読んでいるお経は、お釈迦さまのお言葉ということになります。

ではなぜ、お釈迦さまのお言葉を読むのでしょうか。お釈迦さまは今から二千五百年ほど前、北インドの地でこの世界の真理を覚られ、苦しみから解脱する方法を世に広めるため、仏教を開かれました。私たち仏教徒は、そのお釈迦さまのお言葉を「真理」として受けとめ、日々精進して生きようと努力します。けれども、日常生活を送る上で、なかなか精進努力は続きません。そこで、日々お釈迦さま

のお言葉に触れ、今生きていることに感謝し、また仏さまや亡くなった方への感謝と供養の気持ち新たにすするため、そして自身の極楽往生のために、浄土宗では「日常勤行式」という一連のお経とお念仏（南無阿弥陀仏）をお唱えするのです。

「勤行」（お勤め）というのは、仏さまの前でお経やご法語（法然上人のお言葉など）を読み、お念仏を唱え、礼拝することです。浄土宗では本来、毎日六回あるいは三回の勤行をするのですが、少なくとも朝夕の二回は仏前に座りたいものです。「お経を読む時間が無い」という方は、お仏壇の前で手を合わせて十念（十遍のお念仏）をお唱えすることから始めてみてはいかがでしょうか。

ところで、その毎日の勤行でお唱えするのが「日常勤行式」ですが、実はお葬式や法要・法事など「日常」でない時にお唱えするのも、この「日常勤行式」を基本として組み立てられているのです。

今回はその「日常勤行式」のお経の部分を、四コマ漫画で見えていきましょう。

し ぶ じょう 四奉請

さん ぼう らい 三宝礼

こう げ 香偈



十方の仏様、どうぞこの道場にお入り下さいませ

お釈迦様登場

阿彌陀様登場

観音様 勢至様 諸々の菩薩様方 登場!!

ようこそ おいでくださいました

あみださま 阿彌陀様をはじめとした、あらゆる仏様、菩薩様、この道場（本堂や仏壇等）においでください。

は い 乗 り ま す 。 投 げ 飛 ば さ な い で ね !

どうぞ おみ足を お乗せくださいませ

礼 拜

一心敬礼 十方法界 常住仏

一心敬礼 十方法界 常住法

一心敬礼 十方法界 常住僧

真心を奉げ、仏様と仏様の教え、仏道に励む人々を心から敬い、礼拝いたします。

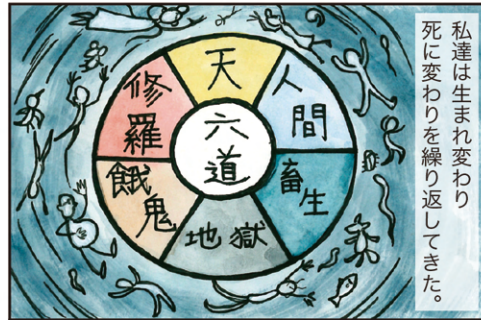
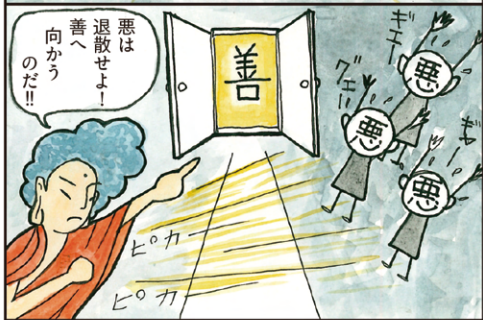
心を静かにして 仏様を迎える準備

ようしく 願います

願我身 淨如香炉 願我心 如智慧火

念 念 焚 燒 戒 定 香 供 養 十 方 三 世 仏

香炉のように身を清らかに、智慧の火のように心を穏やかにして、あらゆる仏様に供養いたします。



.....中略.....
 斯願若剋果 大千応感動
 虚空諸天人 当雨珍妙華
 我建超世願 必至無上道
 斯願不満足 誓不成正覚

それは、
仏様との出会い...
ではお教え
しましょう
これは!!
よろしく
お願いします。
ニヤン

あ
遇い難い仏様の教えに出会えたことを喜び、
その教えの真実の意味を理解したいと仏様に
お願いいたします。

がしゃくしよぞうしよあくごう
我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋痴
 じゅうしんごいししよしよ
従身語意之所生 一切我今皆懺悔
 過去から今現在に至るまでのあらゆる罪すべ
 てを今ここに懺悔いたします。



ほうごうばさつ 法蔵菩薩が四十八願の成就を重ねて表明し、
しゅうじょう 衆生を救うことを誓っています。

※法蔵菩薩とは…阿彌陀様の修行時代のお名前。

※四十八願とは…あらゆる衆生を救いとうという

法蔵菩薩の誓い（阿彌陀様の本願）。

みだほんぜいがん 阿彌陀本誓願
じょうさんとうえこう 定散等回向
ごくらくしやうもん 極楽之要門
そくしやうむしやうしん 速証無生身

阿彌陀様が修行中に立てられた誓い（本願）
は、極楽往生の要となるものです。善い行い
すべてを往生のために回し向け、往生した後
には速やかに覚りを得ましよう。

ごぶつほんがなりき 其仏本願力
もんみやうよくおうじやう 聞名欲往生
かいじつとうひこく 皆悉到彼国
じちふたいてん 自致不退転

阿彌陀様の名号を聞き、往生を願ったなら、
阿彌陀仏の本願力で誰しも往生することがで
き、迷いの世界に戻ることはありません。

べつ え こう そう え こう げ
別回向・総回向偈



ねん ぶつ いち え
念仏一会



しょう やく もん
撰益文



別回向
 仏様やお祖師様、ご先祖様にも、これまでの
 功德を回し向けましょう。
願以此功德 平等施一切
同發菩提心 往生安樂國
 これまでのお勤めの功德を一切の人に等しく
 回向し、共に仏になりたいという心をおこし、
 極樂浄土に生まれたいと心から願います。

お念仏は
 いつでもどこでも…
 南無
 阿弥陀仏…
 南無阿弥陀仏
 南無阿弥陀仏
 南無阿弥陀仏
 南無阿弥陀仏…

阿弥陀様に思いを寄せて一心にお念仏をおと
 なえしましょう。

光明遍照 十方世界
 念仏衆生 撰取不捨
 阿弥陀様の光明はくまなく全ての世界を照ら
 し、念仏する人を必ず救いとるのです。

京都教区浄土宗青年会製作のぎやあていは、各お寺でお使いください。
 各自での販売や権利利用等は禁止です。

送仏偈



三唱礼



総願偈



命つぎるその日まで
南無阿弥陀仏

おいでいただいた仏様、お浄土へお帰りください。そしてこれからも仏様、ご先祖様私たちを見守り、お導きください。

請仏随縁還本国
願仏慈心遥護念
普散香華心送仏
同生相勸尽須来

阿弥陀様が目の前にいらつしやると言つ思い
で敬い三度礼拝いたします。

(三唱)

南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

衆生無辺誓願度
法門無尽誓願知
自他法界同利益

煩惱無辺誓願断
無上菩提誓願証
共生極樂成仏道

人々を正しい方向に導き、自らは煩惱を断ち、仏となることを誓い、共に極樂浄土に生まれ、仏の道を歩めますようにと願います。

「性相近し、習い相遠し」という言葉があります。これは人の生まれつきにはほとんど差がなく、習慣の違いによって差が大きくなる、つまり私たち人間にとって良き習慣がとても大切であるということです。

では私たちにとっての良き習慣とはどのようなものでしょうか。もちろん元気のよい挨拶や毎日の掃除などもそのひとつです。でも今回私がお勧めする良き習慣、それは本号のテーマとなっている「日常勤行（毎日のお勤め）」です。浄土宗の日常勤行式の中には、極楽往生の要となる「南無阿弥陀仏」のお念仏はもちろん、そのお念仏の助けとなる正しい行とされる内容が全て含まれています。

私には七歳の息子と五歳の娘がおり、時間がか合うときにはこの二人と一緒に日常勤行をお勧めします。はじめは一緒に座ることさえ難しかったのが、「なむあみだぶつ」、「がんがしんじょ」、「むじょーじんじん…」と発する言葉がどんどん増え、今では「同唱十念」の発声は子どもの担当です。意味はわからないかもしれませんが、毎日の習慣

を通して、私たちを日々見守ってください。いる阿弥陀様や亡き大切な方々の感覚はもちろん、子供たちの心の柱となる念仏信仰がすくすくと成長していることを実感しています。

心が先に変わり、行動や習慣が変わるのではなく、この良き習慣が私たちの心に良い影響を及ぼし、人生を変えてゆきます。そして「親が拝めば子も拝む…」というように、良き習慣は皆さんご自身のみならず、家族やまわりの人々にも広がってゆくものです。

私たちが毎日実践すべきことはもちろんまずお念仏です。そしてもう一步、まずは一日一回、毎日のお勤めを習慣化してみませんか。一日一日の習慣を通して、きつと皆様の心の中に新たな発見が生まれ、心豊かな信仰生活になることは間違いありません。

合 掌

亀岡市 光忠寺副住職
齋藤 明秀

あとがき

この度、ぎゃあてい第24号をお届けさせて頂くことが出来ましたのは、ご協力頂きましたご寺院様をはじめ皆様のお陰でございます。心より深く感謝申し上げます。

また、ぎゃあてい第24号の制作に關しましてマンガ制作を担当頂きました滋賀教区の菊田水月上人にはご多用のなか大変な作業を快くお引き受けくださり、マンガを描き上げてくださいます。誠に有難うございました。

今号ではお経・日常勤行をテーマに制作いたしました。今号のぎゃあていがお経・日常勤行のご理解の一助となり、さらには皆様方とお念仏とのご縁が深まれば幸いに存じます。

*マンガの無断転載はご遠慮ください。

*本誌でご紹介しましたのは浄土宗の日常勤行式で用いられている主なお経です。各ご寺院様において伝承・習慣がある場合がございますのでご了承ください。

参考文献 『新纂浄土宗大辞典』『改定

浄土宗法要集』『浄土宗の

常識』等

